



JREU TOKYO 業務部速報



2026.04.06 No.38

発行：JR東労組東京地本 業務部

「中央・総武緩行線ワンマン運転実施に伴う中野統括センターにおける乗務ユニットの統合について」提案を受ける(その①)

JR 東労組東京地本は2026年4月6日に首都圏本部より表題の提案を受けました。

詳細については下記のとおりです。

■実施箇所

中野統括センター

■実施内容

- (1)中野統括センター(中野北乗務ユニット)及び同(中野南乗務ユニット)を統合する。
- (2)統合後の執務場所は、中野統括センター(中野南乗務ユニット)とする。
- (3)統合後の乗務ユニットは中央・総武緩行線三鷹～千葉間の運転士業務及び三鷹～中野間(東京地下鉄株式会社東西線直通列車に限る)の車掌業務を担当する。

■実施時期

2027年春

■その他

- ・具体的な実施日等については決定次第、別途お知らせする。
- ・施策実施に向け、必要な教育・訓練等の準備を進めていく。
- ・箇所名は2026年4月時点の名称を使用している。

【参考】

中央・総武緩行線西船橋～津田沼間(東京地下鉄株式会社東西線直通列車に限る)の車掌業務は、千葉支社船橋統括センターが担当する。

■ 提案時の主な議論

組 合	会 社
この間乗務員基地の再編は別施策として提案され、実施されてきた。その中に中野車掌区と中野電車区もあったが、ワンマンとは別施策か。	施策としては別である。中野の乗務員基地再編については、最初に社員に示した計画とは変わっている。ワンマン運転がなければ、このタイミングでの統合はなかったと考える。
統合の目的は何か。	安全安定輸送のレベルアップと効率的な業務執行体制の構築である。
ワンマン運転の実施時期についても、2027年春とだけ提案されている。この施策と同日実施か。	ワンマン運転開始と今施策の実施日は同日である。 具体的な日付は決まっていない。
<ul style="list-style-type: none"> ● 提案箇所体制(出面)がないが、別途組合には示すということでもいいか。 ● ダイヤ改正提案で一括で示すのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 詳細については決まり次第別途知らせる。 ● 示し方については決まっていない。一括で示す、別で示す、どちらの可能性も否定しない。乗務員職場の体制は、列車本数が決まらないと確定しない側面がある。

その②へ続く